

# 世界一 子どもを育てやすい 国にしよう!

先日、たまたま同じ車両に乗っていた赤ちゃんが大声で泣きだした時、車内の空気に違和感を覚えた。ある人は「静かにしろ」と言わんばかりに赤ちゃんをあやす女性をジロジロと見たり、中には舌打ちをする人もいた。赤ちゃんが泣くのはごく自然なことであるのに、女性は周囲からのプレッシャーでいてもたってもいられないようだった。もしこの時、周囲の人たちが「お母さん、大丈夫ですよ」という温かな態度だったら、どんなにこの女性は救われたらだろうか。これはほんの一例にすぎないが、子育てをする女性を取り巻く環境はとても厳しい。少子化対策や待機児童の解消が課題となる中、子どもの声がうるさいと周辺住民が反対し、保育園の開園を断念したり、子どもを園庭で遊ばせることができない保育所もあるという。自分たちも同じような時代を経てきたはずなのに、この社会の不寛容さはいかかなものだろうか。このような社会で女性は子どもを産み育てたいと思うだろうか。そんなことを悶々と考えていた時、『世界一子どもを育てやすい国にしよう』という本に出会った。著者の出口さんは、“保険料を半分に安心して赤ちゃんを産み育てられる社会をつくりたい”との思いから日本初のインターネット生命保険会社を創立されたという。本書中に紹介されていたフランスの「シラク三原則」の生まれた経緯に、文化が深く関わっていたことは私自身大変衝撃であった。また、日本の少子化対策や働き方改革への斬新なアイデアと提言はとても興味深く、ぜひ一度、直接お話を聞いてみたいと思った。そして今回、幸運にも出口さんにお越しいただくことが実現した。社会全体で子育てを支え、これからの世代を担う子どもが健やかに育つ環境を整えるために、私たちに何ができるのか、出口さんと共に考えてみたいと思う。

公民科講師 竹村 企代



## 講演者 出口 治明 氏 (でぐち はるあき)

### 《プロフィール》

1948年三重県生まれ。京都大学を卒業後、1972年に日本生命保険相互会社に入社。企画部や財務企画部にて経営企画を担当するとともに、生命保険協会の初代財務企画専門委員長として、金融制度改革・保険業法の改正に従事。ロンドン現地法人社長、国際業務部長などを経て、同社を退職。2006年に生命保険準備会社を設立し、代表取締役社長に就任。2008年の生命保険業免許取得に伴い、ライフネット生命保険会社を開業。2013年に代表取締役会長就任。2017年から創業者としてライフネット生命の広報活動・若手育成に従事。

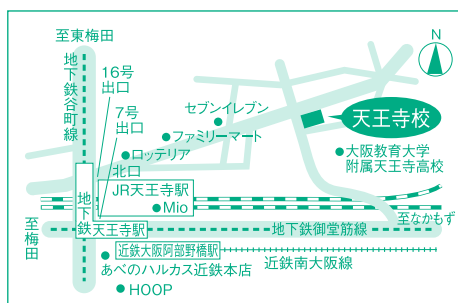
### 《著書》

『世界一子どもを育てやすい国にしよう』（株式会社ウェッジ）、『人生を面白くする本物の教養』（幻冬舎新書）、『生命保険入門 新版』（岩波書店）、『直球勝負の会社』（ダイヤモンド社）、『生命保険とのつき合い方』（岩波新書）、『「働き方」の教科書』（新潮社）、『働く君に伝えたい「お金」の教養』（ポプラ社）、『世界史の10人』（文藝春秋）、『「全世界史」講義Ⅰ・Ⅱ』（新潮社）、『座右の書「貞観政要」』など多数あり。

- 日時 **9月30日(土)**  
17時30分～19時00分(予定)
- 会場 **河合塾 天王寺校**

**入場無料**

※定員の都合により整理券を発行する可能性があります。



**河合塾 天王寺校**  
☎ **0120-070-014**

〒543-0054  
大阪市天王寺区南河堀町3-23

### 【アクセス】

- JR天王寺駅から徒歩5分
- 地下鉄御堂筋線・谷町線天王寺駅から徒歩6分
- 近鉄南大阪線大阪阿部野橋駅から徒歩8分